

郷土資料室からのお知らせ

旅をしている縄文土器



獣面付深鉢形縄文土器

東京都埋蔵文化財センター

【開館日】年末年始、臨時休館日(3月7日～11日)を除く午前9時半～午後5時
【所在地】多摩市落合1ノ14ノ2
京王相模原線「京王多摩センター駅」・小田急多摩線「小田急多摩センター駅」から徒歩5分
【入場料】無料
【電話番号】☎042・373・5296

郷土資料室で常設展示されている「獣面付深鉢形縄文土器」(左写真)が、いま旅に出ています。
平成22年にも埼玉県富士見市立「水子貝塚資料館」に旅をしました。今回は多摩市にある東京都埋蔵文化財センターへほぼ1年間の長旅です。
貸し出し中の「獣面付深鉢形縄文土器」は、縄文時代の代表的な動物であるイノシシの顔や毛並みが全体に立体的に描かれた土器で、国内でも類例のないものです。しかも、獣面装飾の付いた土器の中でも古い、今から約5000年前の縄文時代中期初頭(五領ヶ台式)のもので、落合川の河川改修の際に、昭和54年から3年間行われた多聞寺前遺跡(現在の「いこいの水辺」付近)の発掘調査により発見されたもので、一般の図鑑や本にも載っているとても有名な縄文土器です。
この土器は、東京都埋蔵文化財センターの企画展「古代びとの祈りとマツリ」で、27年3月まで展示される予定です。この機会にぜひご覧ください。
企画展の問い合わせは同センターへ。郷土資料などの問い合わせは郷土資料室 ☎472・0051へ。

東久留米市の郷土史など 主な刊行物

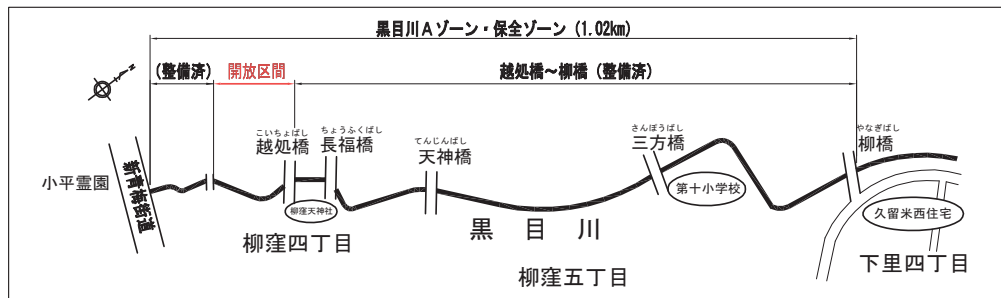
郷土史などの刊行物を市政情報コーナー(市役所2階)と郷土資料室(わくわく健康プラザ2階)で閲覧・購入できます(閲覧は市立図書館でもできます)。
「東久留米市史」(5000円) ▼「東久留米市史史料」(4000円) ▼「東久留米のあけぼの―考古学にみる東久留米の原始・古代」(1500円) ▼「東久留米の江戸時代―文化財からみた東久留米の村々」(1700円) ▼「東久留米の近代史―明治・大正・昭和前期」(1300円) ▼「光の交響詩―写真でつづるふるさと東久留米」(1300円) ▼「指定文化財編」(700円) ▼「地名編」(800円) ▼「板碑編」(500円)

黒目川上流域の遊歩道を 開放します



越処橋付近の遊歩道

市では、黒目川上流域において、公共下水道雨水整備に合わせて、親水機能を付加した良好な水辺環境となるよう整備を進めています。
これまで、柳橋(やなぎばし)・越処橋(こいぢよばし)の区間が完成し、多くの皆さんにご利用いただいています。今回新たに、越処橋(こいぢよばし)・新青梅街道の区間(下図参照)を3月3日(月)から散策路として開放します。水と緑に触れ合う道へ、ぜひお立ち寄りください。
詳しくは施設管理課下水道施設係 ☎470・7759へ。



市ホームページに バナー広告を 掲載しませんか

月に約6万3000件のアクセスがある市のホームページに、広告(バナー)を掲載してみませんか。
【基準】公共性と品位を損なわないもの。政治・宗教活動、意見広告と個人宣伝などは除きます。
【規格】縦60ピクセル、横150ピクセル。50キロバイト以内。GIF形式。
「トップページ」に表示します。
※申込書は市ホームページからも取得できます。
詳しくは同担当 ☎470・7708へ。

《今号の主な内容》
・お済みですか? 税の申告は3月17日までです
・70歳～74歳の国民健康保険加入者へ
・3月は「自殺防止! 東京キャンペーン」月間です
・生涯学習活動団体の学習プランを募集します

【市の主な刊行物】①東久留米のあけぼの ②東久留米の江戸時代 ③東久留米の近代史 ④光の交響詩 ⑤東久留米の野鳥 ⑥東久留米の野草

